



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日
東

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所
コード番号 4975 URL <http://www.jcu-i.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允 (TEL) 03-6895-7001
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 粕谷 多聞
四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,621	6.1	1,087	41.1	1,150	49.7	743	57.5
27年3月期第1四半期	4,357	12.9	770	78.5	768	34.7	471	48.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 721百万円(145.0%) 27年3月期第1四半期 294百万円(△50.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	105.35	—
27年3月期第1四半期	66.89	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	21,356	13,997	65.1
27年3月期	21,616	13,633	62.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,906百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	80.00	—	50.00	—
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
平成28年3月期 第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭
平成28年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭
配当予想の修正については、本日(平成27年8月3日)公表の「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
平成27年3月期の年間配当金合計は、第2四半期末(分割前基準)と期末(分割後基準)で単純合計できませんので、記載しておりません。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	6.6	2,000	△6.8	2,000	△8.0	1,300	△9.8	184.28
通期	21,400	8.1	5,000	8.5	5,000	3.4	3,500	9.2	496.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	7,054,800株	27年3月期	7,054,800株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	466株	27年3月期	466株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	7,054,334株	27年3月期1Q	7,054,334株

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気が年初の落ち込みから回復基調にあり、欧州景気もユーロ安を背景とする輸出拡大等が支えとなり緩やかな回復が続いています。また、中国景気の鈍化も緩やかなテンポに留まっています。一方で、米国の利上げやギリシャのユーロ圏離脱、中国の債務問題等の世界経済の下押しリスク要因があります。また、日本経済におきましては、個人消費や設備投資は緩やかな回復基調を維持していますが、年初にかけて増加した反動もあり、輸出・生産は増勢に一服感がみられます。

このような状況のもと、当社グループの業績は、海外における薬品の販売が好調に推移したことにより、売上高は4,621百万円（前年同期比6.1%増）となりました。この結果、営業利益は1,087百万円（前年同期比41.1%増）、経常利益は1,150百万円（前年同期比49.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は743百万円（前年同期比57.5%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が順調に推移し、また中国では、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移しました。この結果、売上高は4,060百万円（前年同期比20.4%増）、セグメント利益は、1,456百万円（前年同期比31.2%増）と前年を上回りました。

(装置事業)

装置事業におきましては、一部の装置について工事の完成が遅れた影響もあり、売上高は268百万円（前年同期比67.8%減）となりました。この結果、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント利益41百万円）と前年を下回りました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置の売上計上により、売上高は292百万円（前年同期比94.6%増）となりました。この結果、セグメント損失は114百万円（前年同期はセグメント損失113百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ260百万円（1.2%）減少し、21,356百万円となりました。

流動資産は、主に配当金の支払や株式の取得による現金及び預金の減少により518百万円（3.3%）減少し、14,993百万円となりました。

固定資産は、主に海外での株式の取得による投資有価証券の増加により、258百万円（4.2%）増加し、6,362百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ624百万円（7.8%）減少し、7,358百万円となりました。

流動負債は、主に法人税の支払による未払法人税等の減少や賞与支給に伴う賞与引当金の減少により491百万円（8.7%）減少し、5,144百万円となりました。

固定負債は、主に借入返済による長期借入金の減少により133百万円（5.7%）減少し、2,213百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ364百万円（2.7%）増加し、13,997百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,013,660	6,364,216
受取手形及び売掛金	5,695,632	5,795,032
商品及び製品	1,110,917	1,185,401
仕掛品	134,888	109,456
原材料及び貯蔵品	401,445	410,454
繰延税金資産	513,526	327,943
その他	825,999	977,913
貸倒引当金	△184,230	△176,994
流動資産合計	15,511,838	14,993,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,740,086	1,719,467
機械装置及び運搬具(純額)	608,694	607,537
工具、器具及び備品(純額)	404,111	412,409
土地	522,824	522,824
リース資産(純額)	137,036	137,158
建設仮勘定	699,169	682,512
有形固定資産合計	4,111,922	4,081,910
無形固定資産		
のれん	21,779	19,842
その他	68,518	84,394
無形固定資産合計	90,298	104,237
投資その他の資産		
投資有価証券	1,504,670	1,758,933
繰延税金資産	5,197	5,938
その他	392,316	411,563
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,902,185	2,176,434
固定資産合計	6,104,406	6,362,581
資産合計	21,616,245	21,356,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,320,088	2,260,281
短期借入金	267,038	191,351
1年内返済予定の長期借入金	551,844	513,278
リース債務	17,981	18,593
未払法人税等	1,128,214	531,504
賞与引当金	361,264	203,289
工事損失引当金	13,962	13,962
前受金	232,357	532,800
繰延税金負債	26,773	29,185
その他	716,599	850,622
流動負債合計	5,636,123	5,144,870
固定負債		
長期借入金	1,019,469	887,838
リース債務	155,968	155,478
退職給付に係る負債	801,116	833,168
繰延税金負債	53,220	18,842
資産除去債務	204,092	205,255
その他	113,196	113,196
固定負債合計	2,347,063	2,213,779
負債合計	7,983,187	7,358,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,176,255
資本剰余金	1,128,904	1,128,904
利益剰余金	9,514,099	9,904,551
自己株式	△714	△714
株主資本合計	11,818,545	12,208,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,080	246,852
為替換算調整勘定	1,443,739	1,450,646
その他の包括利益累計額合計	1,726,819	1,697,499
非支配株主持分	87,692	90,859
純資産合計	13,633,057	13,997,355
負債純資産合計	21,616,245	21,356,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,357,493	4,621,671
売上原価	1,948,823	1,808,308
売上総利益	2,408,670	2,813,363
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	538,646	576,740
賞与	158,117	176,422
退職給付費用	33,256	30,509
減価償却費	61,160	73,071
貸倒引当金繰入額	15,506	-
その他	831,625	869,476
販売費及び一般管理費合計	1,638,313	1,726,219
営業利益	770,356	1,087,143
営業外収益		
受取利息	6,364	5,403
受取配当金	18,309	18,319
為替差益	-	33,368
持分法による投資利益	26	-
貸倒引当金戻入額	-	7,426
その他	2,145	6,924
営業外収益合計	26,844	71,442
営業外費用		
支払利息	7,038	6,098
為替差損	20,778	-
持分法による投資損失	-	129
その他	629	1,678
営業外費用合計	28,446	7,907
経常利益	768,754	1,150,678
特別利益		
固定資産売却益	617	718
特別利益合計	617	718
特別損失		
固定資産除却損	17	29
投資有価証券評価損	467	-
特別損失合計	484	29
税金等調整前四半期純利益	768,887	1,151,367
法人税、住民税及び事業税	214,073	229,355
法人税等調整額	78,099	170,092
法人税等合計	292,173	399,447
四半期純利益	476,714	751,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,849	8,751
親会社株主に帰属する四半期純利益	471,864	743,168

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	476,714	751,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,290	△36,228
為替換算調整勘定	△199,622	5,634
持分法適用会社に対する持分相当額	48	-
その他の包括利益合計	△182,283	△30,593
四半期包括利益	294,430	721,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,213	713,847
非支配株主に係る四半期包括利益	3,217	7,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,373,243	833,673	150,575	4,357,493	—	4,357,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	280	280	△280	—
計	3,373,243	833,673	150,856	4,357,774	△280	4,357,493
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,109,952	41,248	△113,739	1,037,462	△267,106	770,356

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,392
全社費用※	△268,498
合計	△267,106

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

銀座鈴蘭堂化粧品股份有限公司へ増資したことに伴い、「新規事業」において、のれんが発生しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、11,542千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,060,153	268,550	292,967	4,621,671	—	4,621,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	239	239	△239	—
計	4,060,153	268,550	293,207	4,621,910	△239	4,621,671
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,456,242	△2,690	△114,185	1,339,366	△252,222	1,087,143

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,537
全社費用※	△253,760
合計	△252,222

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。